

死亡届

令和2年1月9日届出

東京都千代田区 長 殿

受理 令和 年 月 日
第 号
書類調査 戸籍記載 記載調査 調査票 附 票 住民票 通知

(1) (よみかた) みんじ いちろう
(2) 氏名 民事 一郎
(3) 生年月日 昭和23年12月14日
(4) 死亡したとき 令和2年1月9日 午前4時10分
(5) 死亡したところ 東京都港区虎ノ門一丁目1番1号
(6) 住所 東京都千代田区霞が関一丁目1番1号
(7) 本籍 東京都千代田区丸の内一丁目1番
(8) 死亡した人の夫または妻 いる(満70歳)
(9) 死亡したときの世帯のおもな仕事
(10) 死亡した人の職業・産業
(11) 届出住所 東京都千代田区霞が関一丁目1番1号
署名 民事 太郎 印 昭和51年12月28日生

記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。死亡したことを知った日からかぞえて7日以内に

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

内縁のものはふくまれません。□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

死亡者について書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録(厚生労働省所管)、高齢者の医療の確保に関する法律に基づくレセプト情報・特定健診等情報データベース(厚生労働省所管)、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく所要の感染症対策(厚生労働省所管)にも用いられます。

死亡診断書(死体検案書)

この死亡診断書(死体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。楷書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

氏名 民事 一郎
生年月日 昭和23年12月14日
死亡したとき 令和2年1月9日 午前4時10分
死亡したところ 東京都港区虎ノ門一丁目1番1号
死亡したところ及びその種別 1病院 2診療所 3介護医療院・介護老人保健施設 4助産所 5老人ホーム 6自宅 7その他
施設の種類 〇〇〇病院
死亡の原因 脳出血 動脈硬化症
死因の種類 1病死及び自然死 2交通事故 3転倒・転落 4溺水 5煙、火災及び火焰による傷害
外因死の追加事項 1住居 2工場及び建築現場 3道路 4その他
出生時体重 単胎・多胎の別 1単胎 2多胎
病歴した場合の追加事項 1無 2有 3不詳
その他特に付言すべきことがら
上記のとおり診断(検案)する
診断(検案)年月日 令和 年 月 日
本診断書(検案書)発行年月日 令和 年 月 日
東京都港区白金台1丁目3番6号
法務 康

一 生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

「5老人ホーム」は、介護老人ホーム、特別介護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

死亡したところの種別で「3介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合は、施設の名称に続けて、介護医療院、介護老人保健施設の別をカッコ内に書いてください。

傷病名等は、日本語で書いてください。I欄では、各傷病について・発病の型(例：急性)・病因(例：病原体名)・部位(例：胃噴門部がん)・性状(例：病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の分娩中」と書いてください。産後1年未満の死亡の場合は「妊娠満何週、産後満何日」と書いてください。

I欄及びII欄に關係した手術について、術式及びその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

「2交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。「5煙、火災及び火焰による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

「1住居」とは、住宅、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

傷害がどのような状況で起こったかを具体的に書いてください。

妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。

母子健康手帳等を参考に書いてください。

氏名の欄には、医師本人が署名してください。記名押印は原則不可です。